

災害時などにお湯を取り出す方法

●断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

警告

取水中に熱湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。

お願い

飲用しないでください。

1 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。
(暖房機能がある貯湯ユニットの場合のみ)

←40・41・46・47ページ→

2 不在停止スイッチを約3秒間押す

不在停止ランプが点灯し、エネファームが停止します。

発電はすぐに停止しません。
緊急の場合はすぐに「3」以下を行ってください。
停電時はこの操作を行う必要はありません。

←56ページ→

3 電源プラグを抜く

緊急の場合以外は台所リモコンの表示が全て消灯してから抜いてください。

4 配管カバー(別売)をはずす

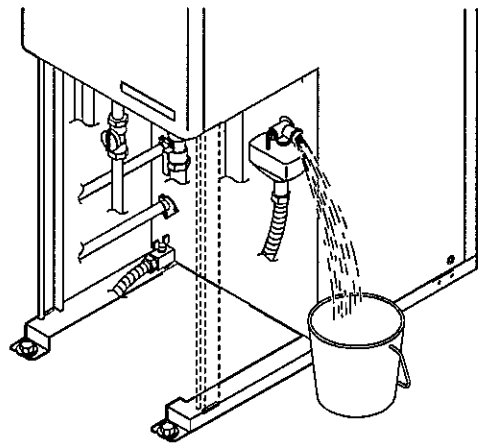
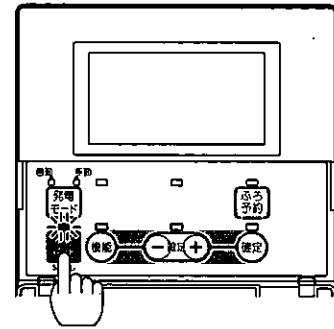
←126ページ→

5 給水元栓を閉じる

6 逃し弁の排水口を右に向ける

7 逃し弁のレバーを上げる

出てきたお湯(水)をバケツなどで受け、生活用水として使用してください。
初めに湯アカなどが出ることがありますので、少し捨ててから使用してください。



配管カバーをはずしたイラストです。

その他の機能

取水が終わったら逃し弁のレバーを下げてください。

再度使用するとき

●「冬の凍結による破損防止について」の「3 貯湯ユニットの水張り」に従って水張りを行ってください。

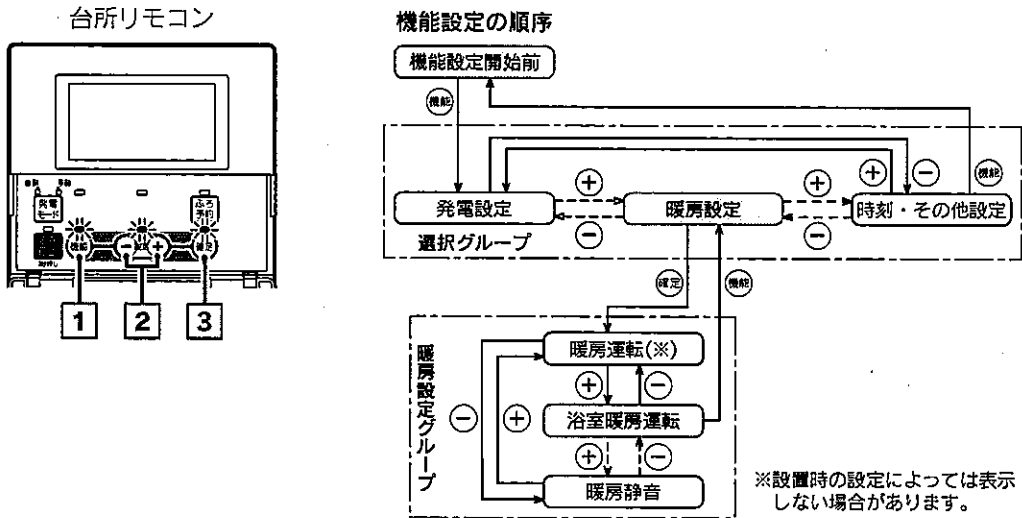
←115ページ→

通電していない状態が24時間以上続いた場合は、現在時刻の設定を行ってください。
その後は通常通りに使用できます。

←21・22ページ→

浴室暖房運転と予約運転

浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。

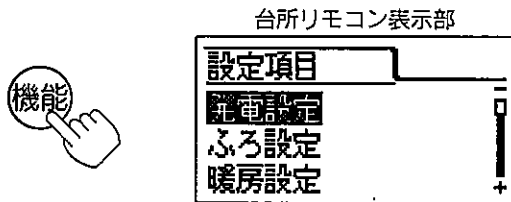


給湯・ふろ運転

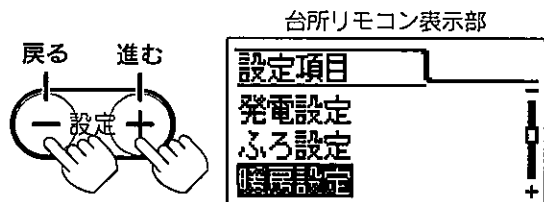
暖房運転

1 ふたを開ける

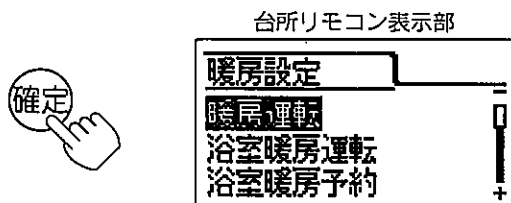
2 機能スイッチ①を押す



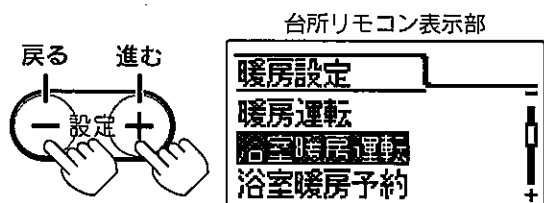
3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する



4 確定スイッチ③を押す



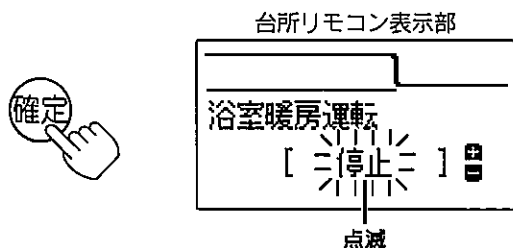
5 設定スイッチ②を押して「浴室暖房運転」を選択する



暖房設定グループの項目を表示します。

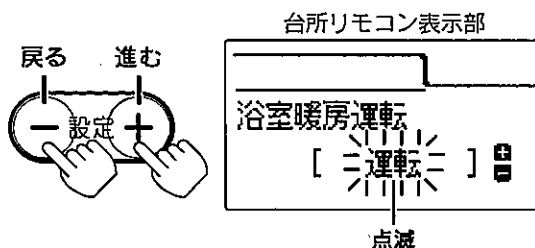
浴室暖房運転と予約運転

6 確定スイッチ^③を押す



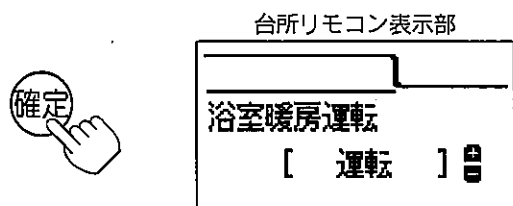
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ^②を押して浴室暖房運転を設定する



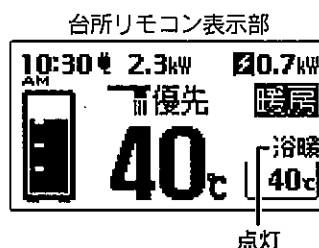
設定スイッチを押すごとに 運転 ↔ 予約 ↔ 停止 の順で変更できます。

8 確定スイッチ^③を押す



音声で「変更されました」とお知らせします。

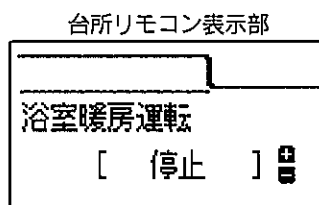
9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。

浴室暖房運転をやめたいときは

「7」で設定を「停止」にしてください。
給湯スイッチを「切」にしても浴室暖房運転は停止しません。

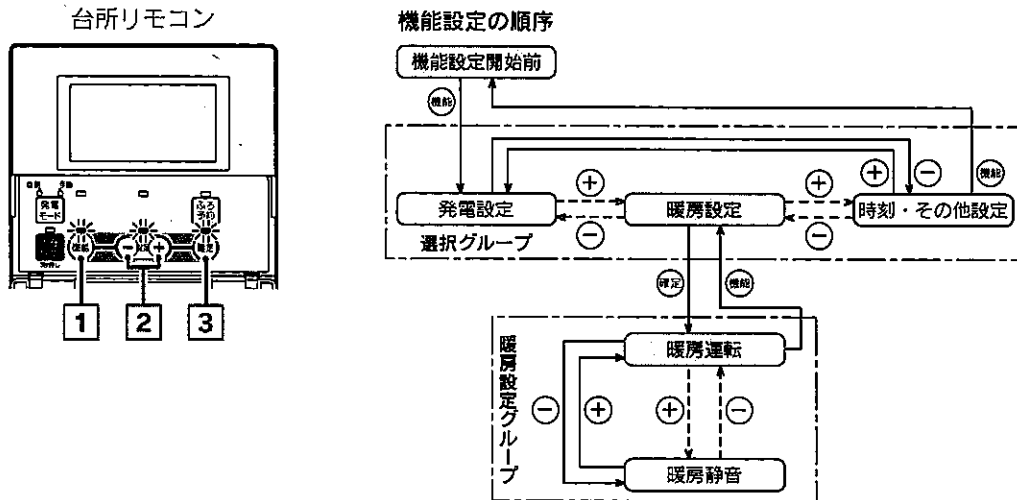


お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い上げ時には「停止」に設定されています。
- 浴室暖房機と接続していない場合は「受付できません」と表示します。
- 「8」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ^①を押すと「暖房設定グループ」内の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

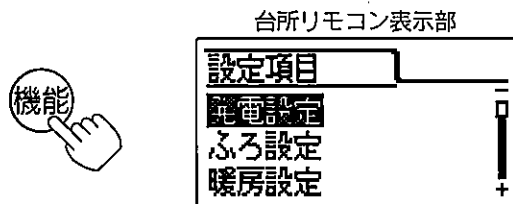
暖房運転の設定

暖房水の流量をバルブの開閉で制御している暖房機を接続している場合に設定します。
 設置時の設定によってはこの設定はできません。(その場合は暖房設定グループの「暖房運転」表示はありません。)

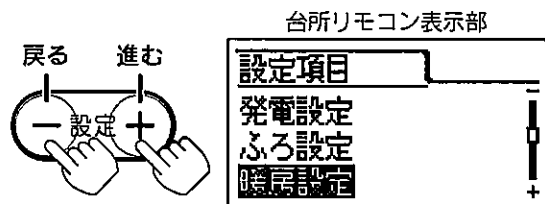


1 ふたを開ける

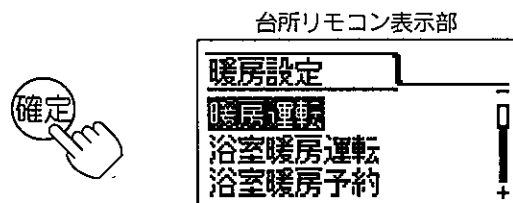
2 機能スイッチ①を押す



3 設定スイッチ②を押して「暖房設定」を選択する

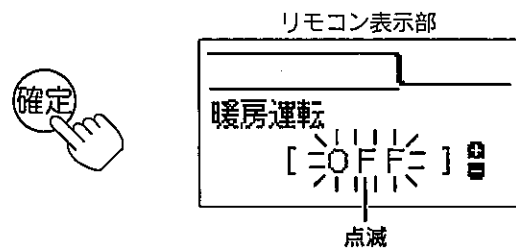


4 確定スイッチ③を押す



暖房設定グループの項目を表示します。

5 もう一度確定スイッチ③を押す

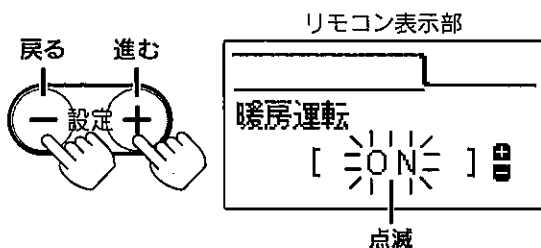


現在の設定が点滅します。



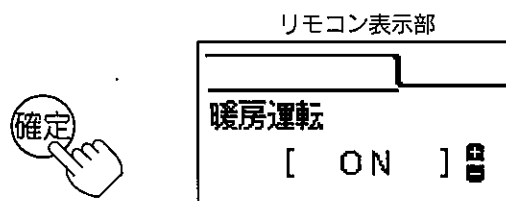
暖房運転の設定

6 設定スイッチ②を押して暖房運転を設定する



設定スイッチを押すごとに ON ↔ OFF を交互に繰り返します。

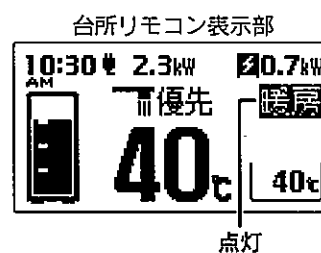
7 確定スイッチ③を押す



音声で「変更されました」とお知らせします。

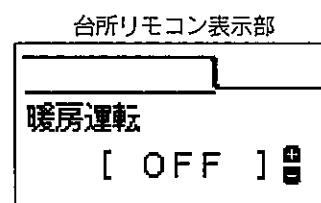
8 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約 40 秒間放置しても通常の表示に戻ります。



暖房運転をやめたいときは

「6」設定を「OFF」にしてください。
給湯スイッチを「切」にしても暖房運転は停止しません。



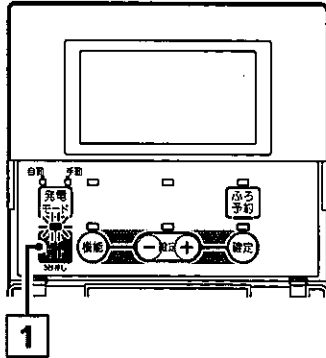
お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 「7」で確定スイッチを押した後(設定内容を表示中)、機能スイッチ④を押すと「暖房設定グループ」内の機能を続けて設定できます。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

エネファームの全停止(不在停止)

旅行などで不在になったり使用しない場合にご利用ください。
凍結予防運転以外のすべての運転(発電・給湯・暖房など)を停止します。
停止中は学習機能による電気・給湯の使用・ふる運転等の使用時刻や使用量の記憶を行いません。

台所リモコン



1 暖房端末機の運転停止・予約解除をする

台所リモコンで浴室暖房運転と暖房運転の停止・予約解除を行います。
台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。
暖房運転の予約中に「エネファームの全停止(不在停止)」を設定しても、予約時刻になると暖房運転を開始し、「エネファームの全停止(不在停止)」が解除されます。必ず暖房運転の予約を解除してください。

2 不在停止スイッチ①を約3秒間押す



台所リモコン表示部



音声で「不在停止します」とお知らせします。
運転が停止すると全て表示が消灯します。
暖房運転中は「エネファームの全停止(不在停止)」を受け付けません。音声で「受付できません。確認してください」とお知らせします。

再び使用するときは



不在停止スイッチ①を押してください。
音声で「不在停止を解除します」とお知らせします。給湯スイッチ、接続している暖房端末機の運転スイッチを押すことでも解除できます。
このときは音声でお知らせしません。
解除後の発電モードはエネファームの全停止(不在停止)前の発電モードとなります。

お知らせ

- 「エネファームの全停止(不在停止)」を設定しないとリモコンの給湯スイッチを「切」にしても発電を行います。
- 落雷のおそれがある場合は「エネファームの全停止(不在停止)」を行ってから、電源プラグを抜いてください。
- 「エネファームの全停止(不在停止)」を行っても凍結予防運転を行います。電源・ガスを切らないでください。

発電運転

長期間使用しない場合

- しばらく使用しない場合は「エネファームの全停止(不在停止)」を行ってください。
長期間(1カ月以上)使用しない場合、電源プラグを抜いた場合は、冬期の凍結による破損防止についての「2 貯湯ユニット内の水を抜く方法」に従ってください。

56 113 114ページ

日常の点検・手入れのしかた

点検・手入れの際のご注意

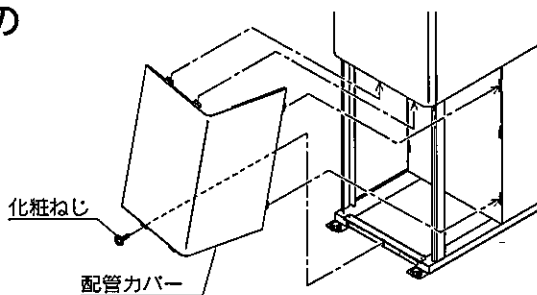
⚠注意

- 点検・手入れの際は金属部に充分注意してください。ケガの原因になることがあります。
- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はエネファームコールセンターにご連絡ください。

点検・手入れ前の準備

貯湯ユニットの配管カバー(別売)の はずしかた

配管カバーの化粧ねじ(1個)をはずして配管カバーを取りはずします。
点検・手入れが終わったら元通りに取り付けてください。



イラストは配管カバーを右側に取り付ける場合です。

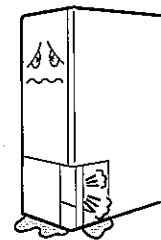
点検

(日常)

ガス漏れ・水漏れ

⚠警告

発電ユニットや貯湯ユニット、配管などからガス漏れしていないことや配管などから水漏れしていないことを確認してください。ガスが漏れていれば異臭がします。



故障かな？
長く使ってい
ただため